

【算数】

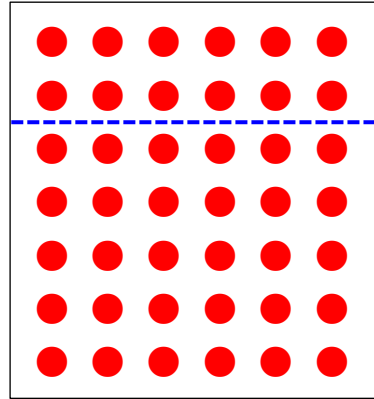
<学習内容>

◆かけ算のきまり～分配のきまり～（教科書15～16ページ）

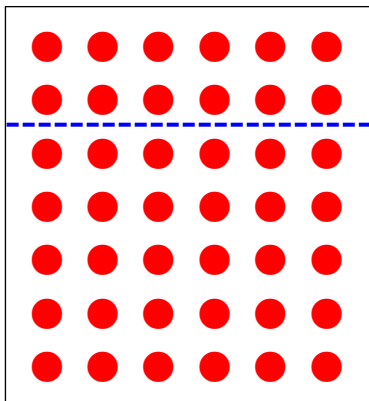
7 × 6 の答えのもとめ方を考えよう…パート2



「7 × 6」の答えが、先週の課題とはちがうきまりを使って、もとめられるよ！



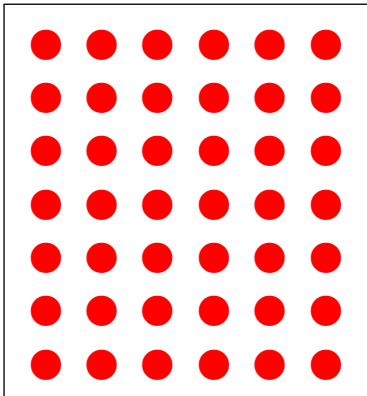
ふみとさんの方法を見て、かけられる数の「7」を分ける考え方をかくにんしよう。



$$7 \times 6 \begin{cases} 2 \times 6 = \square \\ 5 \times 6 = \square \\ \hline \text{あわせて} \square \end{cases}$$

$$7 \times 6 = (2 \times 6) + (5 \times 6)$$

上の考え方を参考にして、かける数の「6」を分ける方法について式を考えよう。





「かけられる数」や「かける数」を分けて考える方法は、1年生のときのたし算やひき算の学習ともにているね。

式は、一つだけかな。



ほかの九九でも「分配のきまり」が使えるかどうか、たしかめよう。



例えば…「 8×5 」や「 6×4 」でもできるかな。

「分配のきまり」を使うと、もっと大きな数のかけ算ができるよ！教科書13ページのはるさんやゆきさん、みなとさんの考え方を使って、「 13×4 」答えを出そう。自分の一番好きな考え方が見つかったなら、ノートにメモしておこう。

<保護者による関わり方のポイント>

◆かけ算のきまり（教科書 P15～16）

- ・この学習は、高学年でも使う大変重要な考え方です。みなとさんの考え方を式や図と結び付けて学習します。学校再開前に予習することで理解しやすくなります。
- ・子どもが、初めて九九の範囲を越えるかけ算にふれます。困っているときは、教科書 P16 の●の図を使うように促し、3年生では、「かけ算の意味をより考えられる」ようにしていくことが大切になります。